

画：友安よーいち
第 87 話「早く新米が食べたい」



<編集後記>

ファミサポを取材しました。ファミサポ利用の子どもや支援センターに来た親子が楽しく遊び、まかせて会員さんが優しく見守っている様子が安心感を感じました。(佐藤)

7月号で掲載した「写真で振り返る昭和30年代の小林」に、たくさんの方から反響の声をいただきました。総合文化祭の作品展で写真を展示しますので、ぜひ来場ください。(前原)

心の花びら

一握りの土は古里より曼珠沙華 (小林合歓の会 藤林伸岳)
天高く天を衝く先万札に (小林合歓の会 中園直子)
それぞれの面差し秋思兵馬俑 (小林合歓の会 清本幸子)
うちわ風電話の先へ届けけり (小林合歓の会 海蔵由喜子)
彼岸花約束守る人は好き (小林合歓の会 倉田玲子)
鴟鳴くや庭は庭の声生るる (小林合歓の会 永田タエ子)
杉天辺ホオジロさえずり聞き惚れる (長友正臣)
稔りの秋嫁の実家より新米の届く感謝の三十二年 (永友チエ)
いつの日も高千穂峰は悠然と人の安らぎ見守りそびゆ (三國キミ子)
デイケアに行く人みんな気は同じ第二の人生いかに楽しむ (家村昭文)
器具買い説明開きまたもしてその説明の意味が分からず (武ナミ子)

SUKU SUKU



仮屋 琴音 ちゃん
令和2年7月22日生

お歌が大好き！お友達をたくさん作って、たくさん遊んで、笑顔いっぱいの日々を過ごしてね。
保護者：假屋 拓朗、美由紀

すくすく募集中!

必要事項を郵送またはメールでお送りください。

- ・子どもの名前、ふりがな、生年月日、性別
- ・掲載する写真
- ・保護者の名前
- ・コメント (50文字以内)

【申・問】・地方創生課
mail info@city.kobayashi.lg.jp

小林市立図書館
問=TEL 22-7913

今月のおすすめ図書

★新刊本の入荷
は毎週土曜



～児童書～



『ごちそうたべにきてください』
作：茂市 久美子
絵：しもかわら ゆみ
発行：講談社

～一般書～



『結 妹背山婦女庭訓波模様』
著者：大島 真寿美
発行：文藝春秋

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館
◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで
【須木分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間 9時～17時
【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館
◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
毎月1日は館内整理日のため全館(本館・須木・野尻)休館

さらなる知の探究へ!

「新読書室」へご案内♪

市立図書館では閉架室(本を保管する部屋)を常時オープンし、「新読書室」としてご利用いただけるようにしています。新読書室には小説や児童書・絵本など約3万冊の本があり、懐かしの名作や人気作家の初期作品なども所蔵しています。新読書室でも、ぜひ本との出会いを楽しんでください。



新読書室
小説コーナー

新読書室
児童書・絵本コーナー

文化の足跡

こばやしの城跡④～三山城～



▲三山城見取り図



▲三山城跡

三山城は、小林市中心部より南西方向に約1kmの地点にあり、県道霧島公園小林線と県道西麓小林線の間で東西に伸びる台地上に位置しています。

平安時代の末期、宝光院の住職吉富氏が比叡山延暦寺の明雲僧正を迎えるために築城したともいわれる小林最古の城であり、別名を吉富城ともいいます。

当時から小林の中心となる山城であり、日下部氏、北原氏、伊東氏、島津氏と、時代とともに主が代わった歴史ある城です。

伊東氏が治めていた時期に、伊東氏によって小林城(真方地区)

が築城されるまで小林の中心として栄え、中世の時代に小林が「三ツ山」と呼ばれたのは、この城の名に由来します。

江戸時代の始めには、幕府によって発令された一国一城令により廃城となったのち、衆力山(地元民が力を合わせて育てる山)として許可されます。

明治の中ごろ以降は開発が進み、住民の畑地として分割払下げや終戦後は公私の住宅団地となり、目に見える部分での城の痕跡は少ないですが、現在でも小字名が「城山」として残っています。